

災害時の対応

環境保健夏季大学講演

21世紀のグローバルな水問題および災害時と水インフラについて、私たちが考えておかないといけないことをお話しします。

となる水資源が現在の1・5倍必要との試算があります。

昭和50年前後に浄水施設がたくさんつくられましたが、この施設およ

災害時の全国の水道事業体の給水復旧目標は、大体同じですが、災害後3日程度は運搬給水、1週間後までは給水拠点を整備し、3週間程度までは仮設の給水を行い、1カ月以内には通常にもどすことを計画しています。

一方で、水道は厚生労働省、下水道は国土交通省というように所

昨年の7月豪雨災害からちょうど1年が経過しての今回の夏季大学の開催となりました。一方で、災害時には「水」が大きな問題となり、当協会も数多くの井戸水検査を実施しました。

今回の講演では、福山市立大学都市経営学部で浄水処理、上下水道を専門に、今回の災害時の状況について研究されている堤行彦先生に「都市の水インフラと災害時の水利用」について、講演いただきました。

調べたのですが、個人情報との関係で、調べられたのがわずかであり、もともとたくさんあるのではないかとというのが感想でした。調査結果では、避難所と井戸は結構近いところがあり、避難所は、行政がすでに決めていますので、その近くにある井戸を普段から災害時に活用できるように所

第58回 環境保健夏季大学

公衛協相互の情報交換と交流へ

食チエックの実践率は0・9ポイント増加

環境保健夏季大学は、体験交流を通して今後の環境保健・公衆衛生の向上と活動の活性化を狙いに毎年開催しています。

58回目となる今年は、7月4日～5日に、グリーンピアせとうちにて県内各地から、約150人が参加しました。

公衛協事例発表

参加者相互の意見交換・情報交換の場として、江田島市公衛協「ゴキブリホウ酸団子配布の取り組み」、府中市公衛連「町民ふれあいウォーキング大会活動報告」、安芸太田町公衛協「移動式不法投棄防止監視カメラ事業について」、尾道市公衛協「さわやか健康大学」の取り組み「健康づくりを企画できる地区衛生組織の育成」、三原市公衛協「水辺教室」の5つの公衛協が

食チエック事業速報

独自の方法で事業を行っており、アンケートでも「たいへん参考になった」と答えた参加者が78%でした。「工夫した」他の地域の取り

令和元年6月13日から19日までの1週間、約1万人の公衆衛生推進委員を対象に、毎日の食事で摂取した食品をチエックする「1万人の食チエック事業強化期間」に挑戦していただきました。

優秀な公衛協の表彰とお楽しみ抽選会を行った、環境保健夏季大学(7月5日現在)

提出された食チエックカードは、3千880枚でした。これは、全県の推進委員9千102人のうち42・6%の人が実施していただいたことになり、昨年度の実践率41・7%を0・9ポイント上回りました。

実践率1位の公衛協とその実践率は、推進委員の規模別に坂町(100%)、廿日市市(69・9%)、廿日市市大野(63・3%)、福山市(64・6%)でした。

台風などに備え上手に活用を

予報の延長と暴風域情報が更に詳しく



台風は毎年のように日本へ襲来し、大雨や暴風、高波、高潮などにより大きな災害をもたらすことがあります。そのため動向の把握や予測はきわめて重要です。

熱帯や亜熱帯の海上で発生する低気圧を「熱帯低気圧」と呼びますが、このうち北西太平洋(赤道より北で東経180度より西の領域)または南シナ海に存在し、なおかつ最大風速(10分間平均)

がおよそ17m/s(34ノット、風力8)以上のものを「台風」と呼びます。

台風は一年間に平均で約26個発生し、約11個が日本に接近し、約3個が日本に上陸しています。発生・接近・上陸ともに、7月から10月にかけて最も多くなります。

広島県では、過去に台風による大きな被害が発生しており、平成16年の台風第18号では、広島(中区上八丁堀)で最大瞬間風速60・2m/s(広島観測史上1位)の猛烈な風を観測し、厳島神社の建物が倒壊するなど、各地で大きな被害が発生しています。

気象庁では、平成30年(2018年)6月に更新したスーパーコンピュータシステムによる計算能力の向上や、台風の最大風速や中心気圧などの強度や台風の進路をより正確に予測するための技術開発を行ってきました。台風情報が防災対応に活用されるよう、本年3月14日から台風に関する強度の予報を従来の「3日先まで」から「5日先まで」に延長しました。台風の暴風域に入る確率情報も、同様に延長されています。また、本年6月12日からは、進路予報を改善し、台風の予報円や風速25m/s以上となるおそれのある暴風警戒域をより絞り込んで表現しています。

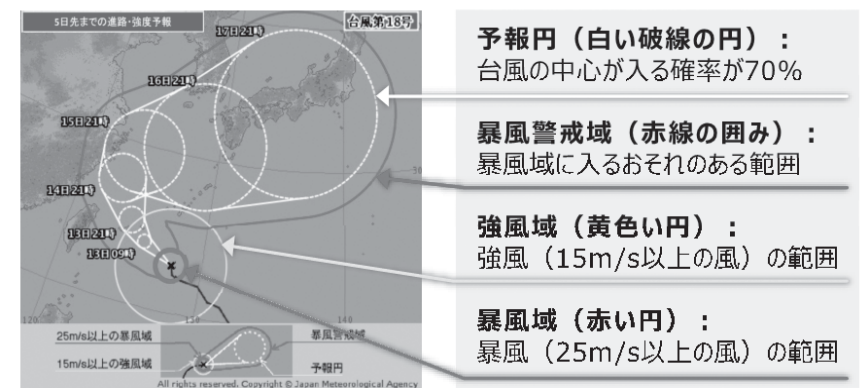
副菜を組み合わせた食事を1日2回以上、ほぼ毎日食べている人の割合70%以上」に対する現状に注目したいと思います。



食チエックカードに記載された結果は現在集計中で、次回の情報紙11月号で詳細を報告する予定です。特に、目標の「主食・主菜・

台風情報のURL(気象庁ホームページ内) <http://www.jma.go.jp/jp/typh/>

台風の位置や強さなどを予報するとともに、防災上の注意を呼びかけます。



台風情報のURL(気象庁ホームページ内) <http://www.jma.go.jp/jp/typh/>

台風などの気象災害に備えるため、日頃から台風情報や気象情報を確認して早めの対応に活用してください。

ハザードマップなどで避難場所を確認しておき、災害が予想される数日前には最新の気象情報を利用し、災害が差し迫っているときは避難場所への早めの移動、危険な場所には近づかない、不要な外出は控えるなどの対策をとりましょう。

(広島県地方気象台 防災管理官室 調査官 今岡 浩史)

(シリーズ終わり)